

生徒会役員が生徒会研修会に参加

十二月六日に生徒会役員さんが鈴鹿の青少年研修センターで開かれた生徒会研修会に参加しました。鈴鹿と亀山の十三校の生徒会役員さんたちが集まりました。午前中は、「ガラスの地球」という環境に関するビデオを視聴して、各学校の環境に関する取り組みの交流と生徒会の活動の内容の交流を行いました。

午後は、鈴鹿の人権ネットワークに所属している人たちの劇をみて、いじめをなくすために生徒会としてどう取り組むかを議論しました。



後期の生徒会メンバーです

他の学校の取り組みが新鮮で、自分たちの学校もぜひ取り入れたという発表が多くありました。関中学校の活動も他の学校の良いところを取り入れて独自の活動を発展させていければいいですね。



いじめに関する劇を見て考えます

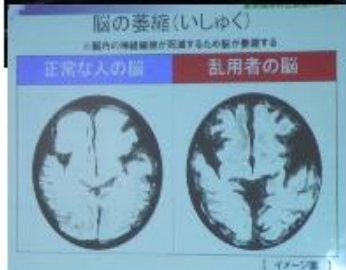


いじめをなくすために何ができるか考えます

2年生が薬物乱用防止について学びました

中学校では、どの学校でも必ず薬物乱用防止教室といつて、どこかの学年で薬物の恐ろしさを学ぶことになっています。

関中学校では、薬物乱用防止教室を2年生対象で、亀山警察の生活安全課にお願いして行いました。乱用される薬物に共通する特徴は、脳に作用し、依存を引き起こすという性質です。こうした薬物の乱用は、健康に重大な影響を及ぼし、さらに社会にも大きな影響を与えます。薬物の依存性から薬物がやめられなくなった乱用者は、やがて慢性中毒症状、幻覚・妄想に襲われ、自らを傷つけたたり、死を選ぶなど、身も心もボロボロになります。このような話を具体的にさせていただきました。



3年生は進路決定の懇談会

二学期も残り少なくなってきましたが、この時期は私立の受験と県立の前期選抜について具体的にどうするかを決定する時期が近づいています。この時期は、どんなふうに懇談会に臨めばいいのでしょうか。1、2年生も参考になるかと思えますので紹介します。

まず、親子でよく話し合い、その上で懇談に臨むということは当然のことです。いざ懇談になって、「この子は何を聞いても自分の考えを言わないし、結局これという話し合いもせず来たんですが、先生、この子に向くような学校はないでしょうか？」と切り出される保護者の方も過去にいました。そして子どもはただ黙って隣に座っているだけ・・・これでは懇談になりません。子どもが主であり、受験する本人がしっかりと自分の意志を表明し、きちんと「このような進路の取り方をしたい」と担任に話すことから始めなくてはならないでしょう。三者懇談に臨むにあたって、どうしたらいいのか少しふれておきましょう。

① 今、候補として考えている進路は、子ども自身が納得し、希望している進路なのか。親の押しつけになっていないか。無理に納得させられているケースもあり、そのような場合、その進路をとれたとしても挫折しはじめるかと再起できないで崩れていくケースもあります。

② どこも無理そうだという選び方をしていないか。無理そうなのに挑戦してみようというチャレンジ精神も大切ですが、そういう選び方ばかりして、うまくいかなかったとき大変困ることがあります。可能性もあり、いずれ、このうちどこに落ちついていても、自分は頑張れる！という気持のある選び方をしたいですね。

③ 進みたいと思うところを下調べしておく。見に行っただけで進みたいところをデータだけで決めてしまうことのないようにしましょう。

④ 受験日などをよく調べ、重なりのないようにしましょう。また、日程に無理がないような選び方をしましょう。

⑤ 行きたくないところに進むということのないように。だから、自分の意志をしっかり持っておきましょう。

⑥ 可能性のある一番行きたいところをはっきりさせることが大事です。

